



「相模原市のひみつを探ろう～木もれびの森」

今日のテーマは、森を楽しむ活動を体験しよう!



大野台小学校 3 年生の総合学習

日時:2020年11月11日(水)8:50~12:00

3年1・2組 79名、先生5名

森案内係:NPO法人相模原こもれび会員9名

さて、予定の9時になったので、中庭に行きましたら、全員が座って待っていました。きちんとした準備ができていました。



時間的余裕がないので、私たちの紹介も簡単に、森へ出かけましょう。

1クラス4組で8(A~H)グループでソーシャルデスタンスを取りながら、相模原緑道緑地を中央緑地に進みましょう!



最初の課題は、「畑地かんがい用水路」の説明でした。1963年完成の16年もかけて作ったこの用水路が、どうしてあつという間に使われなくなってしまいました。大工事をしたのに、炭をまきを作って売っていたのですが、電気・ガスに変わってしまったから。その他にわけがありそうです。



中央緑地で、アイスブレイク!体も頭脳もこれからの探検に備えて、準備運動しました。難しそうな鏡体操やリズム体操もなんなくクリア! さあ、森には何があるのかな?

そうそう、ドングリがたくさん道に転がっています。

大きな帽子をもったクヌギどんぐり、ちょっとスマートなコナラどんぐり。



ドングリを土に うめて、芽がでて大きく育ってくれることを期待して、植付けたポットをみました。それからそれが大きく育った苗たちも見ました。



通路の横に、枝を集めたところがありました。これを、カントリーヘッジと呼んでいます。さらに別のところに、木の枝を結んでアーチが連続しているところもありました。これもカントリーヘッジです。木で作った椅子・テーブル席がある広場に来ました。ここは、イヌシデ広場です。そばに大きく高く立っているのが、イヌシデという木です。ここが、こもれびの集合場所になっています。



まだまだ見たい、見ていただきたいところがありましたが、そろそろ集合時間です。中央緑地で、この森を歩いて感じたこと、思ったことを発表してもらいました。



ふりかえり

先生からの質問:当時、どんな道具で用水路を作ったのですか? 生徒さんたちのふりかえり:いろいろな木や植物があって楽しかった。植物に匂いもある。どんぐりは、いろんな種類があると知った。

用水路ことを知りました。自然がきれいだなと思いました。ここの花は大事にしなくてはならないと思いました。